

水俣病とお地蔵さんとの繋がりとは？

講演会
10/25(日)
PM1:30~

「旅地蔵 阿賀をゆく」

～お地蔵さんだって語ります。水俣病のこと、アートのこと～
東区プラザ（新潟市東区下木戸1-4-1 東区役所2階）



新潟水俣病公式確認50年事業

今年で新潟水俣病が公式確認されてから50年となりました。この節目となる年に、水俣病に関連した文化活動を通して、新潟水俣病をより身近に感じてもらおうと講演会・映画上映会を開催します。ぜひご来場ください。



豊かな暮らしとは何かー
その答えがここにある

上映会
11/15(日)
PM1:30~

阿賀に生きる

大熊氏、旗野氏による解説付

新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階）

「旅地蔵 阿賀をゆく」

～お地蔵さんだって語ります。
水俣病のこと、アートのこと～

平成27年10月25日(日)

午後1時30分～午後3時15分(開場午後1時)

会場：東区プラザ(新潟市東区下木戸1-4-1 東区役所2階)

「旅地蔵 阿賀をゆく」とは、行き場の定まらないお地蔵さんとともに阿賀野川をさかのぼるプロジェクト。高橋伸行氏により、水と土の芸術祭2015にて展開されました。

その旅とはどのようなものだったのでしょうか。お地蔵さんをめぐる物語とは。高橋氏とお地蔵さんを結びつけた旗野秀人氏とともに、旅の経緯と道中のエピソード、新潟水俣病との繋がりをお話しいただきます。



講師プロフィール



高橋 伸行

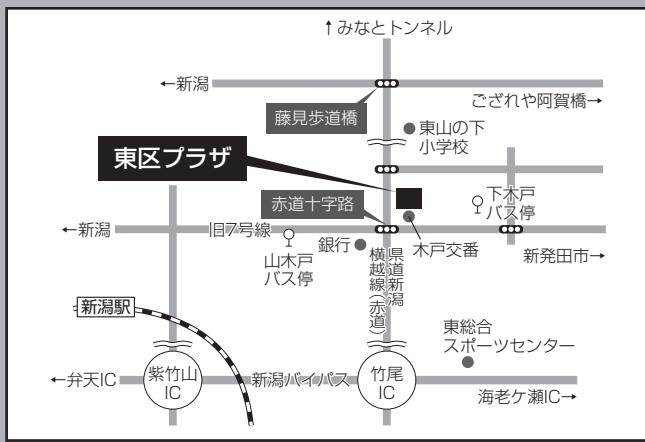
(アーティスト／やさしい美術プロジェクトディレクター)
2002年より、病院や老人福祉施設などでワークショップや作品制作を担当。近年は小牧市民病院緩和ケア病棟でのアートプロジェクトを展開。2006年・2009年、大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレにて、新潟県立十日町病院との協働によるアートプロジェクトを展開。2010年・2013年、瀬戸内国際芸術祭に参加。国立(ハンセン病)療養所大島青松園にてアートプロジェクトを展開。2015年水と土の芸術祭にて阿賀野川と新潟水俣病を対象にアートプロジェクトを展開する。



旗野 秀人

「阿賀に生きるファン俱楽部」事務局。1950年、阿賀野市保田生まれ。71年に水俣病事件と出会い、本業の傍ら地元患者会の事務局を担う。棄却患者の行政不服や裁判を経験する中で、システム闘争の限界と、故郷や患者の魅力に気づく。84年に佐藤真監督と出会い映画『阿賀に生きる』(1992年)を仕掛ける。患者の生き様、死に様に立ち合う中で「豊かに生きる」ことを学び、地元の若者と文化運動を展開中。

東区プラザ(新潟市東区下木戸1-4-1 東区役所2階)



・最寄りバス停「下木戸」より徒歩3分

・無料駐車場あり。台数に限りがあるため公共交通機関のご利用にご協力ください

阿賀に生きる

平成27年11月15日(日)

午後1時30分～午後4時(開場午後1時)

会場：新潟市民プラザ(新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階)

国内外のドキュメンタリー映画各賞を総なめした映画史に残る傑作

『阿賀に生きる』はドキュメンタリー映画作家、佐藤真の初監督作品です。1992年、当時のドキュメンタリー映画では異例ともいえるロードショー公開がなされ、第24回ニヨン国際ドキュメンタリー映画祭で銀賞ほか4賞受賞など、名だたるドキュメンタリー映画祭で最高賞を次々獲得。

新潟水俣病という社会的なテーマを根底に据えながらも、そこからはみ出す人間の命の賛歌をまるごと収め、世界中に大きな感動を与えた。

映画の主役は3組の老夫婦。監督ら7人のスタッフが3年にわたり阿賀野川の流域に住み込み、人々の生きる喜びに溢れた豊かな暮らしを写し撮りました。上映会では、『阿賀に生きる』の製作に携わったお二人より、映画の解説をしていただきます。

解説者プロフィール



大熊 孝

(新潟大学名誉教授、「阿賀に生きる」製作委員会代表、水と土の芸術祭2015参与、新潟市潟環境研究所所長、水の駅・ビュー福島潟名譽館長、NPO法人新潟水辺の会顧問)

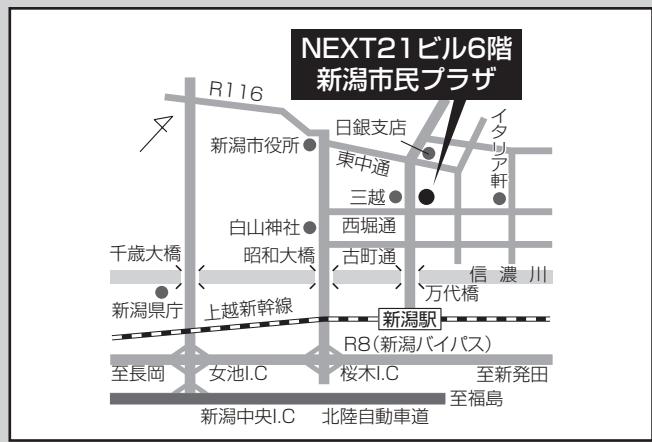
1942年台北生まれ、千葉育ち、新潟市在住。工学博士、専門は河川工学・土木史。自然と人の関係、川と人の関係を地域住民の立場を尊重しながら研究している。

著書に、『利根川治水の変遷と水害』、『洪水と治水の河川史』、『川がつくった川・人がつくった川』、『技術にも自治がある—治水技術の伝統と近代—』、『社会的共通資本としての川』などがある。

旗野 秀人

講演会講師プロフィール参照

新潟市民プラザ(新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階)



・最寄りバス停「古町」より徒歩1分

・無料駐車場なし。提携有料駐車場5カ所(東堀駅駐車場パーク600、ホワイトプラザ西堀駐車場、アルモ西堀、アルモ古町、アルモ東堀)

入場料 無料

申し込み

不要

協力

水と土の芸術祭2015実行委員会／太秦株式会社

問合せ

新潟市保健衛生総務課 新潟水俣病健康福祉係

新潟市中央区紫竹山3-3-11 TEL 025-212-8016(直通) メール hokeneisei@city.niigata.lg.jp

この事業はいがた未来ポイント対象事業です
対象ポイント数：100